

第 59 回日本小児神経学会近畿地方会プログラム

【日 時】平成28年3月12日（土）

*近畿地方会 13時25分開始

*総 会 15時30分～ 15時40分

*特別講演 15時40分～ 16時40分

【会 場】薬業年金会館6階601号室

〒542-0012 大阪府中央区谷町6-5-4

TEL：06-6768-4451

【会 長】田川哲三（独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院）

【特別講演】

「小児神経疾患とモノアミン神経の異常—治療との関連」

林 雅晴（公益財団法人東京都医学総合研究所

脳発達・神経再生研究分野）

次 回 予 告

第 60 回 日本小児神経学会近畿地方会

日 時：平成 28 年 10 月 22 日（土）

会 場：大阪市立総合医療センター 「さくらホール」

会 長：松阪康弘（大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科）

特別講演：「小児難治性てんかんに対する機能温存を重視した外科治療」

森野道晴（東京都立神経病院 脳神経外科・てんかん総合治療センター）

参加者の皆様へ

【受付】6階ロビーにて12時55分より受付を開始いたします。

【参加費】会 員：1,000 円
非 会 員：3,000 円
非会員研修医：1,000 円
非会員学生：無 料

【抄録集】1,000 円（会員には事前発送いたします。）

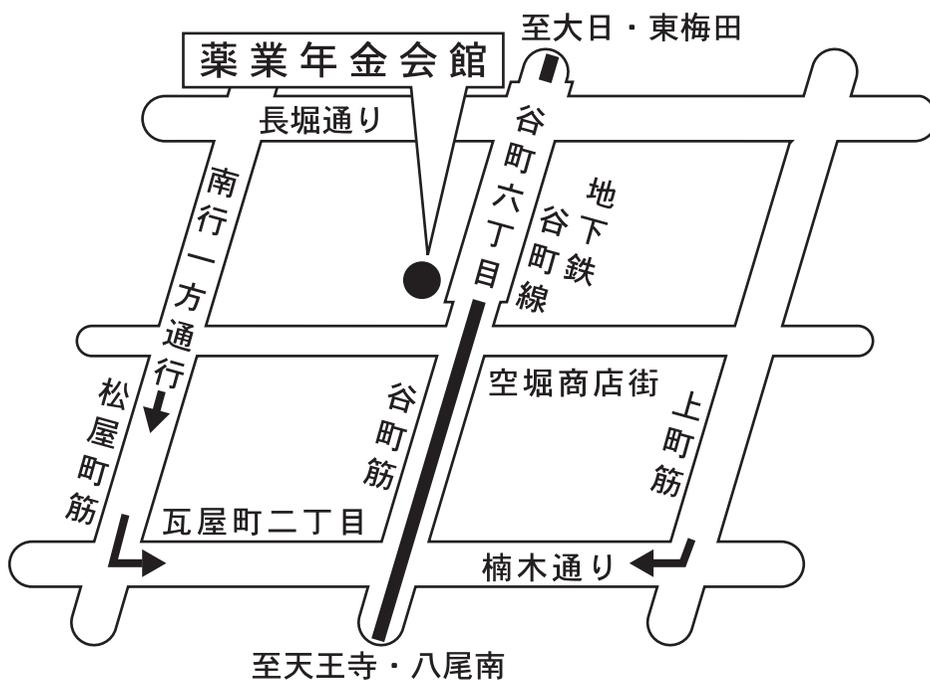
【単 位】日本小児神経学会専門医制度：発表筆頭者 3 単位、連名者 1 単位、
参加者 5 単位
日本小児科学会専門医制度：4 単位

【交通案内】薬業年金会館
大阪市中央区谷町 6-5-4
TEL：06-6768-4451

■電車でお越しになる場合
大阪市営地下鉄（谷町線・長堀鶴見緑地線）「谷町六丁目」駅下車
4 番出口上がる（出口すぐ横）

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮下さい。

薬業年金会館



発表者の皆様へ

【受付・発表時間について】

1. 発表時間の30分前までに発表データをPC受付にご提出ください。
2. 発表6分、質疑4分です。発表時間を厳守して下さい。
3. 発表開始後6分でベルが1回、質疑終了後ベルが2回鳴ります。

【発表使用機材について】

1. 会場に発表用のパソコンをご用意しております。
2. 会場をご利用いただけるパソコンは下記の通りです。
※ Windows 7/8、アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint 2010/2013
3. CD-R (CD-ROM)、USB メモリ持込みの注意点
 - 1) 動画がある場合には CD-R 等のメディアは使用できません。
必ずノートパソコンをお持込みください。
 - 2) CD-R および USB メモリでお持込みの場合は下記の様式で保存してご用意ください。
※ Windows…MS PowerPoint 2010/2013
 - 3) Macintosh の場合は、必ずノートパソコンをお持込みください。
 - 4) フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。
日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
4. プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。
※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。

【ノートパソコン持込みの注意点】

1. OS は Windows、Macintosh が使用できます。
※使用するアプリケーションは PowerPoint のみとさせていただきます。
2. バックアップ用データとして CD-R (CD-ROM) または USB メモリをご持参ください。
またパソコンの AC アダプタは必ずご用意ください。
3. 会場でご用意する PC ケーブルコネクタの形状は MiniD-sub15 ピンです。
この形状に合ったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタ

を必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。

4. スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。

※発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。

プログラム

開会 13:25 会長 田川哲三

神経疾患と遺伝子 座長 西垣敏紀 (大阪警察病院 小児科)

13:30-14:00

1. CSPP1 変異による Joubert syndrome : 本邦第1例目

○野崎章仁¹、熊田知浩¹、柴田 実¹、楠 隆¹、佐々木彩恵子¹、林 安里¹、森未央子¹、日衛嶋郁子¹、井上賢治¹、藤井達哉¹、岡本伸彦²、鈴木敏史³、三宅紀子³、松本直通³

1. 滋賀県立小児保健医療センター 小児科
2. 大阪府立母子保健総合医療センター 遺伝診療科
3. 横浜市立大学大学院医学研究科 遺伝学

2. 広範な白質病変を認めた L-2 ヒドロキシグルタル酸尿症の5歳女児例

○前川加奈美¹、長谷川有紀²、山口清次²、西垣敏紀¹

1. 大阪警察病院 小児科
2. 島根大学医学部 小児科

3. ENA アンチセンスオリゴヌクレオチド (AO85) によるエクソン45スキッピングを誘導する Duchenne 型筋ジストロフィー治療

○李 知子¹、下村英毅¹、田中靖彦¹、栗野宏之²、西田篤史³、伊東恭子⁴、飯島一誠²、松尾雅文³、竹島泰弘¹

1. 兵庫医科大学 小児科
2. 神戸大学大学院医学研究科 小児科
3. 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
4. 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学

脳神経外科関連 座長 宇田武弘 (大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科)

14:00-14:40

4. 脳梁離断術を施行した inv dup (15) 症候群の一例

○織辺圭太¹、宮原由紀¹、小柳津裕子¹、岡田陽子¹、小泉眞琴¹、安部治郎¹、加藤天美²

1. 兵庫県立西宮病院 小児科
2. 近畿大学医学部 脳神経外科

5. 脳室腹腔短絡術を要した裂脳症に伴った Septo-optic dysplasia plus の1例

○前田真範¹、津田祐子¹、田村 彰¹、南 弘一¹、鈴木啓之¹、榎本 誠²、増尾 修³、八木重孝⁴

1. 和歌山県立医科大学 小児科
2. 紀南病院 小児科
3. 和歌山県立医科大学 脳神経外科
4. 和歌山県立医科大学 産婦人科

6. 緩徐に増悪した内反尖足が係留解除術で改善がえられた非典型的な脊髄係留症候群の1例

○國廣誉世、松阪康弘、坂本博昭
大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科

7. 神経線維腫症1型に合併し、短期間で増大した毛様細胞性星細胞腫の1例

○山本祥太、竹本 理、山田淳二、千葉泰良
大阪府立母子保健総合医療センター 脳神経外科

神経疾患の治療 座長 福井美保 (大阪医科大学 小児科)

14:40-15:20

8. 幼児期発症の多発性硬化症に対するインターフェロン療法

○西山将広¹、永瀬裕朗⁶、松本真明¹、富岡和美¹、運崎 愛¹、栗野宏之¹、田中 司²、豊嶋大作²、丸山あずさ²、親里嘉展³、佐伯啓介⁴、白石一浩⁵、高田 哲⁷、飯島一誠¹

1. 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野
2. 兵庫県立こども病院 脳神経内科
3. 加古川西市民病院 小児科
4. 西脇市立西脇病院 小児科
5. 宇多野病院 小児神経科
6. 神戸大学医学部附属病院 親と子の心療部
7. 神戸大学大学院保健学研究科

9. West 症候群を合併した先天性 GPI 欠損症の男児例に対するピリドキシン療法の効果

○富永康仁^{1,2,3}、岸本加奈子^{1,2}、渡辺陽和^{1,2}、谷河純平^{1,2}、岩谷祥子^{1,2,3}、青天目信^{1,2}、下野九理子^{1,2,3}、村上良子⁴、木下タロウ⁴、永井利三郎⁵、大藪恵一^{1,2}

1. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
2. 大阪大学医学部附属病院 てんかんセンター
3. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科
4. 大阪大学微生物病研究所 免疫不全疾患研究分野
5. プール学院大学

10. Valganciclovir 内服治療を試みた無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症の一例

○竹村 亮¹、林 良子¹、池田 妙¹、木村貞美¹、最上友紀子¹、柳原恵子¹、植松 貢²、鈴木保宏¹

1. 大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経科
2. 東北大学医学部 小児科

11. Epstein-Barr virus (EBV) 関連脳炎と考えられた5歳女児の臨床経過と予後について

○金 聖泰、岡崎 伸、岩井謙治、福岡正隆、服部有香、辻ひとみ、温井めぐみ、九鬼一郎、川脇 壽
大阪市立総合医療センター 小児神経内科

— 15:20 ~ 15:30 休憩 —

— 15:30 ~ 15:40 総会 —

特別講演 司会 田川哲三 (独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院)

15:40-16:40

「小児神経疾患とモノアミン神経の異常—治療との関連」

公益財団法人東京都医学総合研究所 脳発達・神経再生研究分野 **林 雅晴 先生**

神経疾患の検査など 座長 永瀬裕朗 (神戸大学医学部附属病院 親と子の心療部)

16:40-17:10

12. 瀬川病の親子例 ～衝動性眼球運動検査、DaTSCAN 施行例～

○星野恭子^{1,2}、泉 鉦吉¹、三谷琴絵³、福田秀樹²、徳重真一^{2,4}、寺尾安生^{2,4}

1. 南和歌山医療センター 小児科
2. 小児神経学クリニック
3. 南和歌山医療センター 神経内科
4. 東京大学 神経内科

13. 読解力が学習困難の原因と考えられた2症例

○畑中マリ¹、若宮英司²、福井美保¹、竹下 盛³、三浦朋子⁴、奥村智人³、水田めぐみ³、
栗本奈緒子³、森 篤志¹、利川寛実¹、島川修一¹、玉井 浩¹

1. 大阪医科大学附属病院 小児科
2. 藍野大学 医療保健学部
3. 大阪医科大学 LDセンター
4. 堺清恵会 LDセンター

14. NICU 等の後方支援

○飯島慎貴¹、船戸正久¹、竹本 潔¹、和田 浩¹、片山珠美¹、藤原真須美¹、波多野わか¹、
塩川智司²

1. 大阪発達総合療育センター 小児科
2. 大阪発達総合療育センター 小児外科